

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2004-346321(P2004-346321A)

【公開日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2004-149227(P2004-149227)

【国際特許分類】

C 0 8 L 33/14 (2006.01)

C 0 8 F 220/26 (2006.01)

C 0 8 G 18/42 (2006.01)

C 0 8 G 18/62 (2006.01)

C 0 8 K 5/16 (2006.01)

C 0 8 L 67/04 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

C 0 9 D 167/04 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/00 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 33/14

C 0 8 F 220/26

C 0 8 G 18/42 Z

C 0 8 G 18/62

C 0 8 K 5/16

C 0 8 L 67/04

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 133/00

C 0 9 D 167/04

C 0 9 D 175/04

C 0 9 J 11/00

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 1種もしくは複数種のヒドロキシ官能性ポリアクリレート樹脂、

(B) 1種もしくは複数種の - カプロラクトンに基づくポリオール(平均ヒドロキシ官能価 2 ; 数平均分子量 : 1 1 9 ~ 2 0 0 0 g / m o l )、および

(C) OH基に対して反応性のある1種もしくは複数種の架橋剤(平均官能価 > 1 )

を含有するバインダー組成物であって、該成分(A)のポリアクリレート樹脂が下記の成分(a)~(g)を共重合させることによって調製される生成物である該バインダー組成物[下記の成分(a)~(g)の重量部の合計は100重量部である]：

(a) 1種もしくは複数種の所望による官能性ポリブタジエン(数平均分子量：500~10000g/mol；1,2-ペンダント状ビニル性二重結合の含有量：該ポリブタジエン中に存在する全ビニル性二重結合に基づいて少なくとも10mol%)0~10重量部、

(b) スチレン、 $\alpha$ -メチルスチレンおよびビニルトルエンから成る群から選択される1種もしくは複数種の不飽和芳香族モノマー1~30重量部、

(c) 1種もしくは複数種の、第一ヒドロキシ基を有するアクリル酸もしくはメタクリル酸のヒドロキシアルキルエステル30~80重量部、

(d) 1種もしくは複数種の、アクリル酸もしくはメタクリル酸とC<sub>3</sub>~C<sub>12</sub>モノアルコールとの脂環式エステル0~30重量部、

(e) 1種もしくは複数種の、アクリル酸もしくはメタクリル酸とC<sub>1</sub>~C<sub>8</sub>モノアルコールとの脂肪族エステル10~60重量部、

(f) 1種もしくは複数種の、 $\alpha$ -不飽和C<sub>3</sub>~C<sub>7</sub>モノカルボン酸もしくはジカルボン酸または1種もしくは複数種のマレイン酸もしくはフマル酸とC<sub>1</sub>~C<sub>14</sub>モノアルコールとのモノエステル0.1~5重量部、並びに

(g) 前記の成分(a)~(f)とは異なるその他の共重合性化合物0~30重量部。